

滋賀県立総合病院

県立総合病院は、前身の県立成人病センターとして昭和45年（1970年）12月に開設して以来、がん、心臓疾患、脳血管疾患などの生活習慣病対策やがん治療等の高度・専門医療を担う県立病院として、機能の充実やサービスの向上に取り組み、男女ともに全国トップクラスの健康長寿県の形成に大きく貢献してきた総合病院です。

映画『国宝』では、改修工事のため閉鎖中だった病棟を貸し切って撮影が行われ、喜久雄（吉沢亮）、俊介（横浜流星）、春江（高畑充希）らが登場するシーンが撮影されました。



医療機関のため施設内のご見学はできません。

超一流の原作&ストーリー&キャスト&スタッフが圧倒的熱量で贈る『国宝』。
人生で観るべき、魂が震える映画体験を――

日本映画の歴史に刻まれる美しく熱い、圧倒的傑作が誕生。

吉田修一自身が3年間歌舞伎の黒衣を纏い、楽屋に入った経験を血肉にし、書き上げた渾身作「国宝」。
任侠の一門に生まれながらも、歌舞伎役者の家に引き取られ、芸の道に人生を捧げた主人公・喜久雄の50年を描いた壮大な一代記。
そんな「国宝」が、世界最高峰のスタッフ&キャストと奇跡のような集結を果たし、堂々の映画化。

本作のメガホンを執るのは、李相日監督。『フラガール』では日本中を感動の涙で包み、第30回日本アカデミー賞最優秀作品賞、最優秀監督賞、最優秀脚本賞を受賞した、常に最新作が期待される監督。

脚本は奥寺佐渡子。『サマー・ウォーズ』、ドラマ「最愛」など、アニメ・実写に限らず、複雑に絡みあう人間関係や、心のひだの部分にも光を当てる表現で、様々な脚本賞の受賞歴を持つ日本を代表する脚本家。

撮影にはソフィアン・エル・ファニ。『アデル、ブルーは熱い色』で第66回カンヌ国際映画祭パルム・ドールの獲得経験を持ち、今回李監督たったの希望を受けて参加。世界にも通ずる視点でとらえた撮影にも要注目。

美術監督には『キル・ビル』の種田陽平。歌舞伎という禁断の世界を美しく、鮮やかに演出する。

また、四代目中村鴈治郎が本作の歌舞伎指導に入り、本編に俳優としても参加。緻密で繊細な所作を、女形を演じる俳優陣へ擦り込み、作品を更に高みへと引き上げる。

キャストにも、日本を代表する超豪華俳優陣の顔ぶれ。
主演である稀代の女形・立花喜久雄を演じるのは、その美貌をもちながら、どんな役でも演じ切る圧倒的演技力で、脚光を浴び続ける吉沢亮。

喜久雄のライバルとなる歌舞伎名門の御曹司・大垣俊介を演じるのは、第48回日本アカデミー賞最優秀主演男優賞が記憶に新しく、その他数々の受賞歴を持つ横浜流星。

そして歌舞伎名門の当主・花井半二郎に、もはや世界的名俳優と名高い渡辺謙。
更には、高畑充希、寺島しのぶ、田中泯、永瀬正敏、森七菜、三浦貴大、見上愛、黒川想矢、越山敬達、嶋田久作、宮澤エマといった、日本映画には欠かせない主演級の俳優たちが一堂に揃い、物語を更に美しく、熱くする。

制作は『キングダム』シリーズ、『ゴールデンカムイ』シリーズのCREDEUS（クレデウス）が担い、観る者を圧倒するエンターテインメント作品へ昇華。

STORY

後に国の宝となる男は、任侠の一門に生まれた。
この世ならざる美しい顔をもつ喜久雄は、抗争によって父を亡くした後、上方歌舞伎の名門の当主・花井半二郎に引き取られ、歌舞伎の世界へ飛び込む。
そこで、半二郎の実の息子として、生まれながらに将来を約束された御曹司・俊介と出会う。
正反対の血筋を受け継ぎ、生い立ちも才能も異なる二人。
ライバルとして互いに高め合い、芸に青春をささげていくのだが、多くの出会いと別れが、運命の歯車を大きく狂わせてゆく...。
誰も見たことのない禁断の「歌舞伎」の世界。
血筋と才能、歓喜と絶望、信頼と裏切り。
もがき苦しむ壮絶な人生の先にある“感涙”と“熱狂”。
何のために芸の世界にしがみつки、激動の時代を生きながら、世界でただ一人の存在「国宝」へと駆けあがるのか？
圧巻のクライマックスが、観る者全ての魂を震わせる――。

キャスト

吉沢亮
横浜流星 / 高畑充希 寺島しのぶ
森七菜 三浦貴大 見上愛 黒川想矢 越山敬達
永瀬正敏
嶋田久作 宮澤エマ 中村鴈治郎 / 田中泯
渡辺謙

原作：吉田修一「国宝」（朝日新聞出版）
監督：李相日 脚本：奥寺佐渡子 音楽：原 摩利彦
主題歌：「Luminance」原 摩利彦 feat. 井口理（Sony Music Label Inc.）



SHIGA LOCATION OFFICE
滋賀ロケーションオフィス

滋賀県大津市京町 四丁目1番1号 滋賀県商工観光労働部 観光振興局内
TEL:077-528-3745 FAX:077-527-7329 [公式HP] <http://www.shiga-location.jp/>

滋賀ロケーションオフィスは、滋賀県内での映像制作を誘致・支援するため、滋賀県および県内の市町が設置した組織です。
映画やドラマなどの作品をととして滋賀県の魅力をPRし、県民の方々と共に地域振興を図り、湖国滋賀の観光の振興や活性化を目指しています。

構成会員 大津市、彦根市、長浜市、近江八幡市、草津市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
協賛団体 株式会社R&P、今津サンプリングホテル、株式会社NYS、近江鉄道株式会社、有限会社菓子長、株式会社関西みらい銀行、株式会社草津第一ホテル、群星フードサービス株式会社（ごはん屋）、甲賀高分子株式会社、株式会社滋賀銀行、滋賀建機株式会社、滋賀県信用保証協会、しまだ鍼灸訪問治療院、有限会社白浜荘、生活衛生同業組合滋賀県興行協会、株式会社千成亭風土、株式会社中央精器滋賀支店、株式会社ディーウィング、株式会社tuc、株式会社トヨレンタリース滋賀、なごみエン지니어リング株式会社、光交通株式会社、びわ湖大津プリンスホテル、琵琶湖汽船株式会社、株式会社琵琶湖グランドホテル、びわ湖放送株式会社、京阪ホテルズ&リゾーツ株式会社 琵琶湖ホテル、株式会社平和堂、ホテルルートイン彦根、水口アレックシネマ、明治安田生命保険相互会社 滋賀支社、明治安田生命保険相互会社 大津北営業所、ラーメン桃李路

※本紙の無断転載・無断使用・転売を禁じます。 発行：滋賀ロケーションオフィス 発行年月 2025年6月

大ヒット
上映中!!

映画『国宝』滋賀ロケ地マップ



びわ湖大津館と滋賀県立総合病院で撮影が行われました

びわ湖大津館

びわ湖大津館の建物は、昭和9年(1934)に滋賀県初の国際観光ホテルとして建設された「琵琶湖ホテル」の本館で、平成10年(1998)、同ホテルが浜大津に移転したのを受けて、大津市が譲り受け、当時の姿に復元改修しました。

地上3階建て、桃山風破風造りの優雅な建物は、優れた近代建築として、平成12年9月に大津市の指定文化財になっています。設計は、岡田信一郎氏の設計事務所で、東京銀座の歌舞伎座、大阪中之島の中央公会堂などの設計もこの事務所が手がけました。

映画『国宝』では、外観が歌舞伎座の雰囲気に近いということもありロケ地に採用され、「日乃本座」(歌舞伎劇場)の外観やロビー稽古のシーンが撮影されました。



歌舞伎劇場に見立てた大掛かりな美術装飾がなされ、道行く人々を驚かせました。



喜久雄(吉沢亮)、彰子(森七菜)、千五郎(中村鴈治郎)らが登場するシーンが撮影されました。



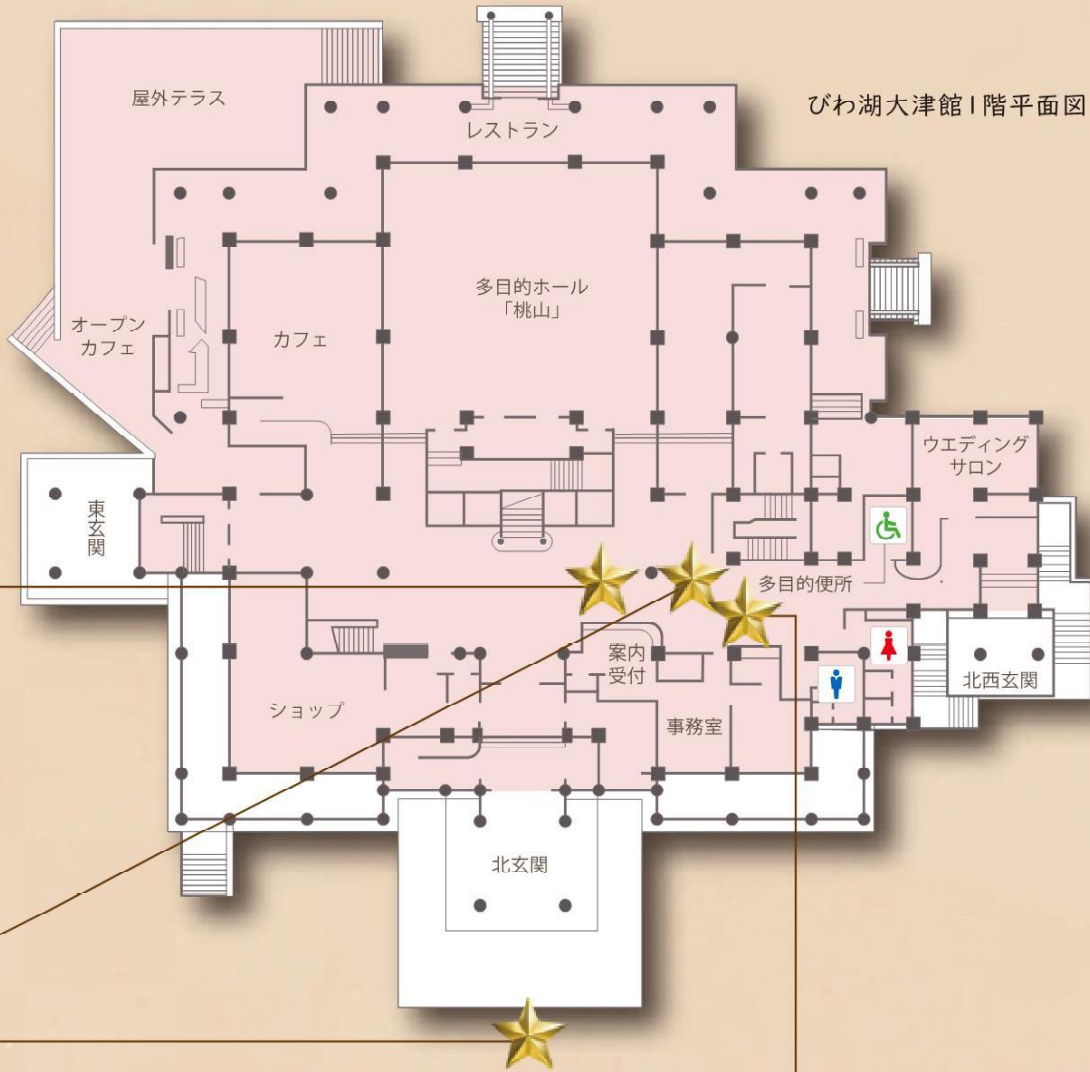
細部までこだわった美術装飾が施され、歌舞伎の殿堂「日乃本座」が臨場感たっぷりに再現されました。



びわ湖大津館外観



びわ湖大津館正面エントランス



総勢約200人のエキストラを動員する大規模なロケが行われました。迫力ある歌舞伎劇場が時代を超えてよみがえりました。



撮影の際に使用された赤い絨毯の一部は、撮影後も記念に残され、現在も館内に敷設されています。

イングリッシュガーデン

びわ湖大津館に隣接する約5,900㎡の広大な敷地には、四季折々の花々が楽しめるイングリッシュガーデンがあります。湖上をわたる爽やかな風と優しい花の香りを体一杯に感じながら、こころ華やぐガーデンウォークをお楽しみください。

また、館内の「ベルヴァンプルージュ」は、ベルギーの港町をイメージしたレストランで、美しい琵琶湖を眺めながらお食事を楽しんでいただけます。



県下最大級のバラ園イングリッシュガーデン



ボーダーガーデン



ノットガーデン

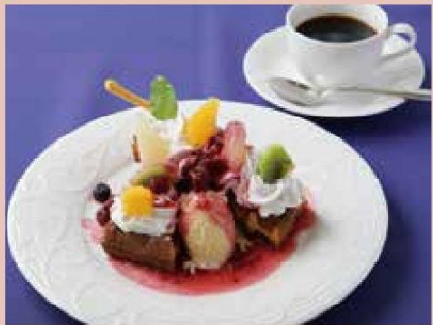


ランドスケープガーデン

※ イングリッシュガーデンは入園料が必要です。
大人[高校生以上]330円、小・中学生・65歳以上・障害者等:160円、未就学児:無料



レストラン「ベルヴァンプルージュ」



撮影隊も食べたデザートセット

撮影にご協力いただいたびわ湖大津館 若代副館長



大勢のスタッフの方や約200人ものエキストラの皆さんが参加する非常に大掛かりなロケで驚きました。

監督をはじめ熱心に撮影に臨む皆さんのお姿に圧倒されました。

撮影の時に敷設された赤絨毯の一部を記念にびわ湖大津館のロビーに残していただきました。映画「国宝」パネル展も館内で開催中です。

5月～6月は、イングリッシュガーデンのバラちようど見ごろを迎えています。映画鑑賞と併せて是非びわ湖大津館にもお越しください!!